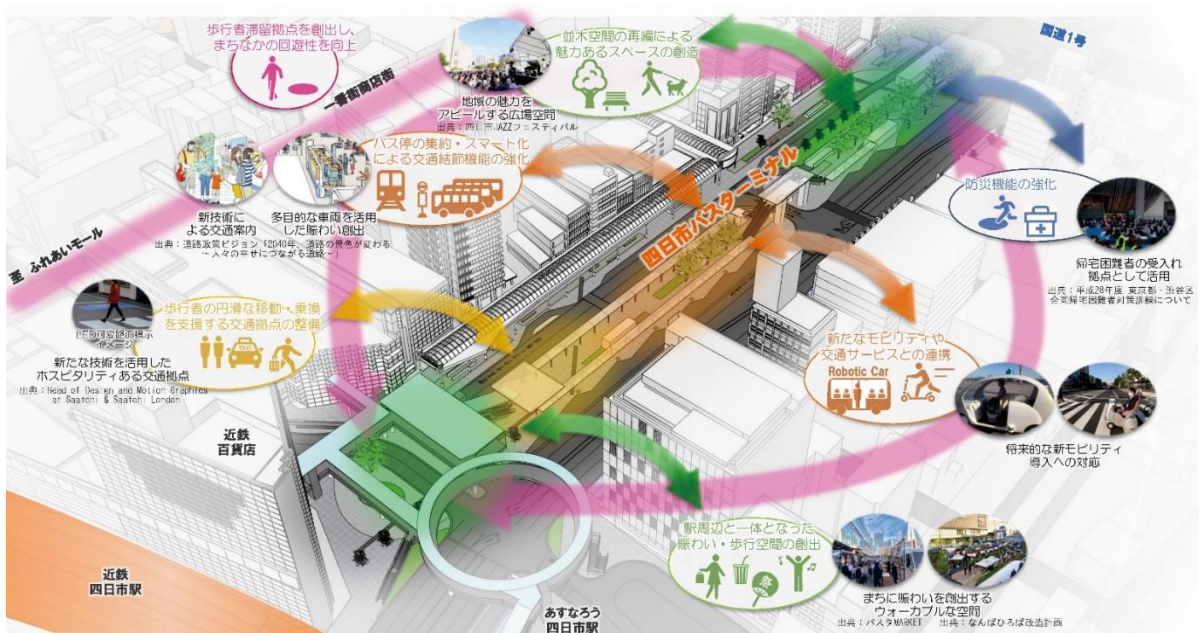


要望書

近鉄四日市駅周辺の交通結節点整備について



※イメージであり、整備内容を決定するものではありません

令和6年1月
四日市市

平素は、四日市市の政策にご理解とご支援を賜り、厚くお礼申し上げます。

四日市市は、東西交通の要衝に位置し、古くから東海道の宿場町、港町として栄え、近年では、臨海部の産業集積に加え、内陸部に世界最先端の半導体工場が立地するなど、我が国有数の産業都市となりました。

国土交通省におかれましては、幹線道路をはじめとする交通ネットワークの構築にご尽力されており、本市の周辺においても、平成31年3月に新名神高速道路を全線開通し、東海環状自動車道についても令和8年の全線開通見通しを公表いただいております。

このような中、国土交通省の「バスタプロジェクト」のひとつである、『国道1号近鉄四日市駅交通ターミナル整備事業』において、令和5年度中の工事着手やターミナル運営事業者の選定など、本市の交通機能強化にご尽力いただいていることに大変感謝しております。

現在の近鉄四日市駅は、鉄道、バスともに県内最大の乗降客数を有する交通結節点となっており、「バスタ四日市」の着手を受け、隣接地ではホテルやオフィスの立地といった民間投資が相次ぐなど、地域の機運も大きく盛り上がっております。

市では、「バスタ四日市」の効果を最大限に発揮させることができるよう、鉄道駅とバスターミナルを直結するペDESTリアンデッキの設置や中央通りの歩行者中心の空間への再編などからなる中央通り再編事業を進めており、昨年5月には、「バスタ四日市」を含めた中央通りの将来イメージを「ニワミチよっかいち」中央通り再編基本計画としてとりまとめ、今年度からは、バスターミナルと直結する円形デッキなど、バスタ周辺の工事に着手しております。

つきましては、次の事項を強く要望します。

- 「バスタ四日市」の早期実現に向けて、四日市市が進める中央通り再編事業と相互に連携した整備に配慮いただき、近鉄四日市駅交通ターミナル整備事業の推進をお願いします。
- 資材価格の高騰や賃金水準の上昇に対応する中でも、道路の老朽化対策及び地方が必要とする道路整備・管理を長期安定的に進めるため、新たな財源を創設するとともに、道路関係予算の総額確保を図るようお願いします。
- 防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策に必要な予算・財源を例年以上の規模で確保し、計画的に事業を推進するとともに、対策期間完了後においても、昨今の地震・豪雨などの災害状況も踏まえた上で、国土強靱化実施中期計画を早期に策定し、国土強靱化に必要な予算・財源を通常予算に加えて別枠で確保して、継続的・安定的に取り組むようお願いします。

令和 6年 1月

四日市市長 森 智広



バスタ四日市を結ぶ円形デッキ



バスタ四日市周辺の工事状況



オフィスの建設イメージ(2025完成予定)



ホテル・オフィスの立地状況
(2022開業)